令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　やまなみ会

・有料老人ホーム四季の杜

目　次

1	はじめに	1
2	全体状況報告	1
3	重点項目	1
4	行事・防災訓練	2
5	研修	2
6	課題・次年度の提起	2

１．はじめに

経営安定化のため、利用者の増加を目指してきましたが、令和 7 年度も満床にできない状況が続いています。年度後半になると徐々に入居される方も増えたが、8 割程度の稼働率にとどまっているところです。

利用者の支援については、日中のデイサービスの利用、買い物外出や特養との合同行事など、生活支援を行ってきました。

２．全体状況報告

利用実績（定員 12 居室 13 名）

・利用稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
稼働率	64	71	73	72	71	71	71	67	78	79	79	79

・年間利用者延べ人数　3,724 名（令和 6 年度 4,253 名）

３．重点項目

（１）安心安全の住まいの提供と生活の支援

①朝食時・夕食時の安否確認を行った。

②利用者全員が通所介護事業所等を利用され、他者との交流ができた。

③定期的な買い物外出で生活支援を行った。

（２）健康管理

①毎朝の健康観察、年１回の嘱託医による病院での検査を行った。

②併設特養と連携して、感染症対策・感染症予防を行った。

③月１回阿蘇ハートクリニックの往診、週１回の阿蘇きずな歯科の訪問診療を実施した。

④必要に応じた専門医への受診調整を行った。

（３）食の安全と食の楽しみの提供

①栄養士が立てた献立の食事提供を行った。

②体調に合わせた食事形態の提供を行った。

③季節に合った行事食の提供を行った。

（４）運営の安定化

満床にすることができず、運営安定化ができなかった。

①将来的な入所希望や問い合わせはあったが、入所に繋げられることが少なかった。

②利用者の要介護状態の悪化により、特養入所になることが増えてきた。

③情報発信や情報提供等を行ったが、新規の入所とはならなかった。

・LINE 公式アカウント（ＳＮＳ）や施設広報で定期的に地域やご家族へ情報発信を行った。

・在宅の要介護者や地域ケア会議で利用の案内を行い、また産山村健康福祉課へ空室の状況や利用者紹介等のお願いを定期的に行った。

・居宅介護支援事業所へ利用者への施設紹介をお願いした。

・阿蘇医療センター等へ施設の紹介等を行った。

４．行事・防災訓練

月	実施内容	併設事業所と合同実施内容
4	買い物	高菜折り
5	買い物	
6	買い物	日中の水害想定の避難訓練 地域ボランティアによる舞踊・歌唱ショー からいも・落花生苗植え、じゃがいも収穫
7		梅ちぎり
8	買い物	
9		敬老会＆納涼祭、地震による火災想定の避難訓練
10	買い物	
11	買い物	からいも・里芋収穫
12	買い物	クリスマス会
1		どんどや
2	買い物	節分豆まき
3	買い物	高菜折り、家族会総会及び芋苗植え、夜間の火災想定の避難訓練

５．研修

施設内研修（併設事業所と合同研修）

月	内　容
4/4	R７年デイサービス入浴介助研修
9/12	メンタルヘルス対策講習会
8/6	４大認知症の特徴とケア、看護・医療連携（施設内）
10/28	看護・医療連携、高齢者てんかんのケア（施設内）
9/19	防災セミナー＆展示会
12/17	パーキンソン症候群のケア、認知高齢者の食事ケア、頻尿のケア（施設内）
11/23	福祉レクリエーション研修（施設外）
12/12	介護する人、介護が必要な人の、心身を守る排泄ケア（施設外）
11/25	高齢者施設等の感染対策について
1/14	専門知識を持つ外部講師による排泄ケア講習（施設内）

６．課題・次年度の提起

令和 8 年 3 月時点で稼働率 8 割程度となっており、徐々に改善している。しかし有料老人ホームにおいても高齢化は常に進んでいるので、今後も退居者が出ることは考えられる。在宅と介護保険施設との繋ぎとしての有料老人ホームの役目を踏まえ、魅力ある施設を作っていくと同時に、引き続き入居希望者の情報収集や、施設の情報発信などを継続していきたい。